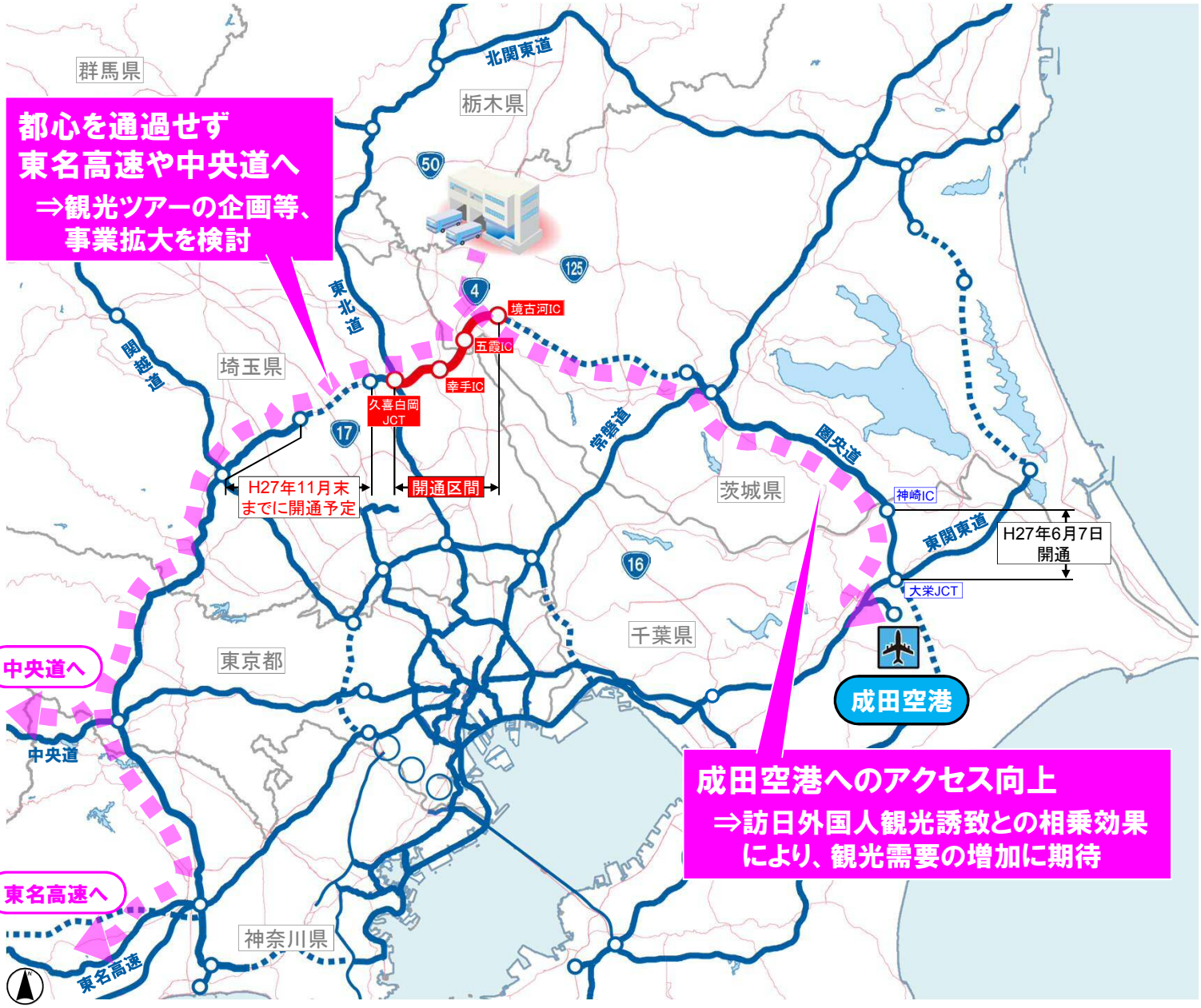
効果② 民需の拡大　～広域的な観光交流の促進～

● 沿線の観光バス事業者では、圏央道の開通を契機に新規バス購入による事業拡大を検討するなど、民間投資を喚起。

圏央道の整備により、広域的な観光交流が促進



総和観光株式会社の声

圏央道開通を契機に新規バス購入による事業拡大を検討！

- 当社では、観光･送迎等の貸切バスの運行や国内･国外の旅行販売を行っています。
- 今回の開通を契機として、当社では事業拡大を視野に入れ、１月～６月にかけて**新規バスを15台増車**し、現在の所有台数は50台となり、**さらに新規５台の増車を予定**しています。
- 特に、よく外国人の送迎も行っていますので、**圏央道開通と国が推進している訪日外国人観光誘致との相乗効果により、さらに観光需要が増加することを期待**しています。
- 今後の圏央道開通により、**都心を通過せず、東名高速や中央道、**さらには**成田空港へのアクセスも向上**するため、**自社でもツアー企画を検討するなど、事業を拡げていきたい**と考えています。

出典）平成27年６月　ヒアリング調査(北首都国道事務所調べ)